

[2月25日 14:00]

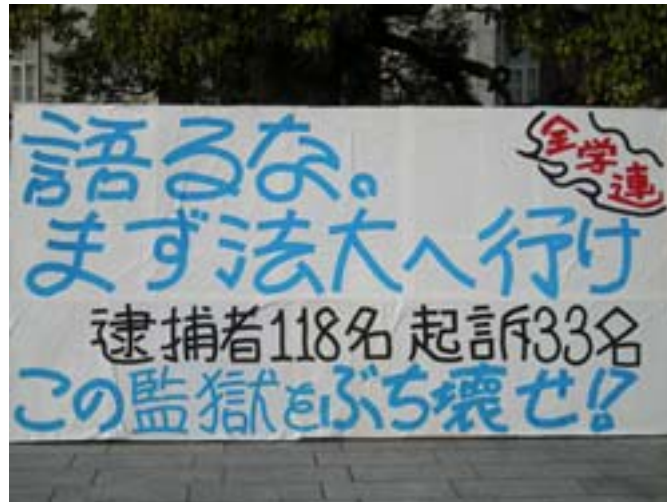
昼食とパフェを食べ終わると、私以外の人たちは全員京大を離れましたが、私は、京大医学部を受ける受験生の応援に行こうと思っていたので、まだまだ時間をつぶす必要がありました。なので、ルネで本を探した後、京大構内散策を始めてみました。いろんな風景を勝手に撮ったので見てみてください。



「日常と変わらない附属図書館前。自転車の数に圧倒されます」



「言わずと知れた時計台」



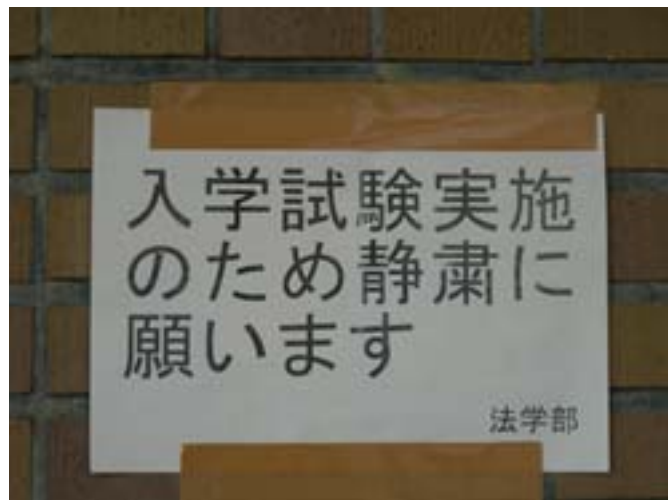
「反体制運動でしょうか？」



「掲示板」



「法学部の受験会場のすぐ横の癒しスポットです」



「癒しスポットと言えどもうるさいと怒られます」



「普段はうるさいのでしょう。鬼ごっことか缶蹴りとか流行っているみたいですよ」



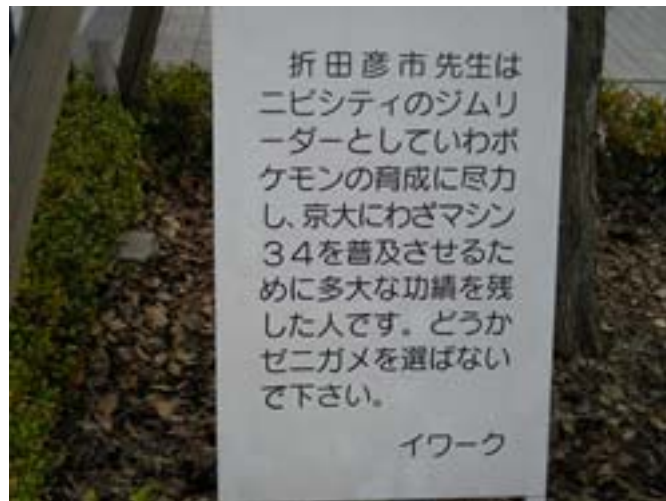
「こんな張り紙も法学部の壁で見つけました」



「時計台の下にタリーズコーヒーがあります。張り紙から近いですね」



「総合人間学部と文学部の受験会場付近にある有名な折田先生像」



「私では理解不能です」



「ついに医学部に到着。先天異常標本解析センターが気になります」



「医学部棟はひっそりしていますね。もう16:00になりました」

やっと医学部の試験も16:00で終わり、出てくる受験生を待つ時間になりました。まあ、暖かかったので散策も苦にならなかったのが良かったです。それにしても寂しいです…。2年前は網干先生が、去年は松下先生と寺岡先生が一緒でしたが、今年は一人です。っと思っていたら、偶然目の前を去年に京大医学部に合格した教え子が通りかかりました。その人(Tさん)と「1年間は早いですね～」なんて話していると、ぞろぞろと受験生が出てきます。Tさんの友達も受験していたらしく、しばし旧交を温めていたようでした。感動の再会です。そのご友人に“がんばって!”の意味を込めて『特濃ミルク 8.2』のアメを差し上げていると、横で「そのアメ俺にもください!」の声が聞こえました。これまた教え子登場です。欲しいと言われて断る南さんではないですから、思う存分差し上げました。そして、もうちょっと教え子が来ないか待っていたところ、ゆっくりと登場する教え子を発見し、京阪三条駅ぐらまで一緒に帰りました。医学部から京阪丸太町駅までは歩くと結構かかりますので気を付けておいてください。こうして初日は終わりを迎えるのでした。

[2月26日 5:30]

入試2日目まさかの5:30起床。びっくりでしょ?早起きすぎです。前日はAM2:00に就寝しましたから。でも、目覚めた瞬間は6:30だと錯覚してしまって、「あーどうしよう!微妙な時間に起きてしまった。もう間に合わないのではないのか?行っても意味がないのか?どうしたら良いのだ!?京大地理ファイナルで2日目も応援に行くぞと言ってしまっていたのに…」と困惑していました。結局は錯覚で、実際は5:30に起きていたので助かりました。でも起きたら雨でした。幸い昨日同様寒くはなかったですが、“傘をさしての応援になるな”と気持ちを引き締め、いざ出発。JR大阪で新快速を待っていると誰かからメールが届きます。「カンブリむかっています。阪急の京都方面に乗りました」とのことでした。おーっと北林先生じゃないですか、起きていたんですね!エクセレント!マーベラ

ス！インディスペンサボウ！「雨の日の応援は誰も来ない」というあの有名な南予想をいい意味で裏切ったの参戦、ありがとうございます。さすが世界征服を志す漢^{おとこ}は違いますね。その北林さんと京都市営地下鉄 鞍馬口駅で出会い、そろって関西文理学院に到着しました。

毎年、法学部か経済学部は京大本校で受験できずに“カンブリ”で受験することになるのですが、今年は経済学部が“カンブリ”でした。いつも文系の受験生で埋め尽くされていた会場も、今年は理系受験者が混じっているのです。結構多くの教え子に会うことが出来て良かったです。受験生が来なくなってきた頃合いを見計らい、付近の喫茶店でシナモントーストのモーニングセットを小粋に食べ、その後タクシーで京大本校に向かい、昨日同様構内を行脚しながら、受験生の応援をし、2日目も終了となりました。



「関西文理学院(通称“カンブリ”)。来年からは長浜バイオ大学の校舎になるところです。
ちなみに右下の人物は北林先生」



「女の人はきっとゴルフの構えをしようとしていますね」



「不景気な世の中なので、この確信を得るのは難しいです」



「何のためにあるのか理解不能な池。入試の前にはまったら大変ですよ」